

ライフ・イノベーション分野  
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和4年度

国際医療交流の拠点づくり 「りんくうタウン・泉佐野市域」地域  
活性化総合特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3+3.5)/2=3.3$

3.3

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	国際医療交流の推進	65%	3
2	訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進	66%	3

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 0 + 4 \times 0 + 3 \times 2 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 2 = 3$

3.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(3.5+2.8+3)/3=3.1$

3.1

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

2.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

2.8

・外国人がん患者数が増えている一方で、円安局面の中そこからの医療サービス収入が伸びていないことは、付加価値の面で競争力が高くないサービスとなってしまっていることがうかがえる。  
幹細胞治療や免疫細胞治療も含め提供サービスの付加価値を高める方策が必要と思われる。

・COVID-19の影響を大きく受けた分野が散見されるが、外国人がん患者等受診数や地域通訳案内士(特区ガイド)活動件数は実績値が目標値を上回っているなど、遂行可能な領域については、十分な実績をあげていると考えられる。

・規制の特例措置や各種支援措置をより積極的に活用できるとよかった。

・国際医療交流の拠点として国内外の患者に質の高い医療を提供するためには、外国人医師との交流・受入・臨床修練は重要な取組であると思われるため、目標達成に向けた一層の工夫に期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

2.8

### 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.3+3.1+2.8 \times 2) / 4 = 3$

3.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認められるには不十分である、1:適当であると認められないとする。